

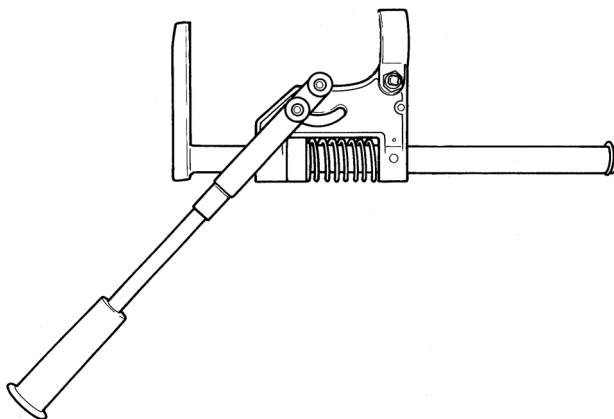
# HiKOKI

## ボーラー用スタンド

### D13-DSE

### 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使い  
ください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用く  
ださい。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で  
使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理また  
は保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country.  
Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is  
available outside of Japan.

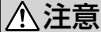
# 目 次

|                   | ページ |
|-------------------|-----|
| ボーラー用スタンドの使用上のご注意 | 2   |
| 各 部 の 名 称         | 3   |
| 仕 様               | 3   |
| 標 準 付 属 品         | 4   |
| 用 途               | 4   |
| 適用電気ドリル           | 4   |
| 組 立 て 方           | 5   |
| ご 使 用 前 に         | 6   |
| 使 い 方             | 6   |
| 標準付属品の使い方         | 8   |
| 保 守 ・ 点 検         | 10  |
| ご修理のときは           | 裏表紙 |

---

## 警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

# ボーラー用スタンドの使用上のご注意

本ボーラー用スタンドは、4ページに指定した弊社電気ドリル専用のスタンドです。これらの電気ドリルを取付けて安全にご使用いただくために、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠警告

- ① 電気ドリルや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 小物材料に穴あけするときは、材料が錐により振り回されないように、バイスなどを使用して、しっかりと押さえてください。錐の抜けぎわに材料が回されることがあります。  
しっかりと押さえないと、材料が回されて、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用していると、けがの原因になります。

## ⚠注意

- ① 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。  
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ② 穴あけ直後の錐や切りくずは高温になっているので、触れないでください。  
やけどの原因になります。
- ③ 回転させたまま、放置しないでください。  
けがの原因になります。

## 各部の名称

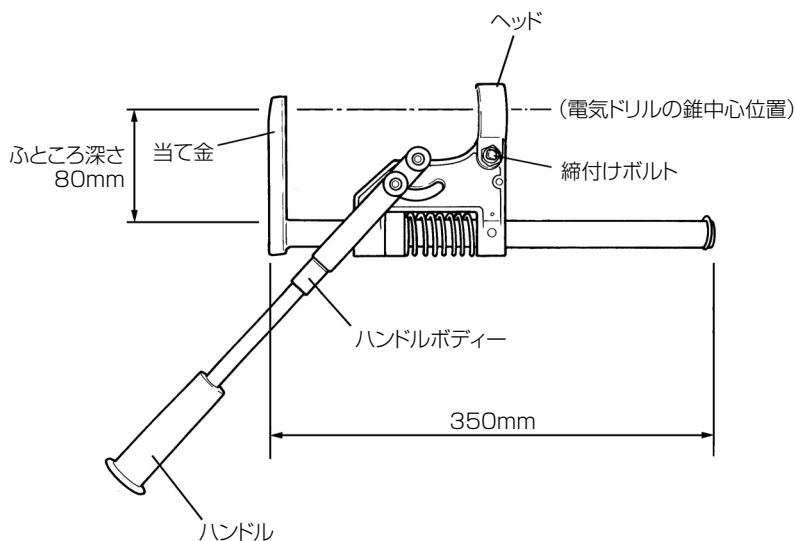
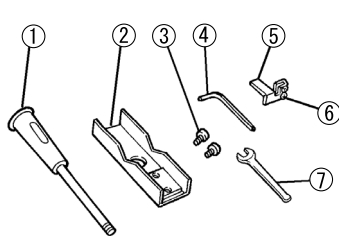


図 1

## 仕 様

|       |       |               |
|-------|-------|---------------|
| 全     | 長     | 350 mm        |
| ふ     | と     | こ             |
| ろ     | こ     | ろ             |
| 深     | さ     | 80 mm         |
| ドリル   | マウント  | 径             |
|       |       | 43 mm         |
| 有     | 効     | 移             |
| 動     | 量     | 210 mm        |
| ストローク | (送り量) | 30 mm         |
| て     | こ     | 比             |
|       |       | 1:10 (力=1/10) |
| 質     | 量     | 1.2 kg        |

# 標準付属品



- ① ハンドル ..... 1 個
- ② コンビシュー ..... 1 個
- ③ M6 × 10 六角穴付ボルト ..... 2 個
- ④ M6 用六角レンチ ..... 1 個
- ⑤ アジャスター ..... 1 個
- ⑥ M4 × 6 ナベネジ ..... 2 個
- ⑦ 13 mm スパナ ..... 1 個

図 2

# 用 途

電気ドリルを取付け、各種金属、プラスチックなどの穴あけ作業

**注** • ドリルでの穴あけ用です。穴あけ以外には使用しないでください。

# 適用電気ドリル

最新の情報は、弊社ホームページ、または総合カタログを参照してください。

| 最大穴あけ能力(鉄工) | 形 名                  |                        |                         |                         |
|-------------|----------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 13 mm       | D 13VC               | D 13SD <sup>※2</sup>   | D 13VD <sup>※1, 2</sup> | D 13VE <sup>※1, 2</sup> |
|             | D 13TA <sup>※2</sup> | D 3613DA <sup>※3</sup> |                         |                         |

- ※ 1 付はボーラー用スタンドが付属している機種です。
- ※ 2 付は旧形機種です。
- ※ 3 付はコードレス製品です。

# 組 立 方

## ⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ず電気ドリルのスイッチを切り、コード付の場合はコンセントから電源プラグを抜いて、コードレスの場合は工具本体より蓄電池を取りはずしてください。
- 電気ドリルの固定は確実に行ってください。  
確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。

- (1) ハンドルをハンドルボディーにねじ込み取付けます。

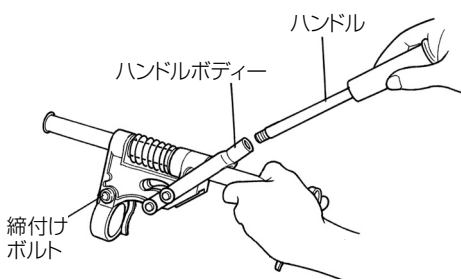


図 3

- (2) 締付けボルトをゆるめ、図 4 のようにストッパー（黄色の部品）を押しながら電気ドリルをヘッド端面に突き当たるまで挿入します。

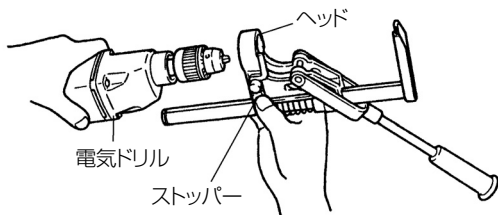


図 4

- (3) 付属の 13 mm スパナで締付けボルトを締付けます。

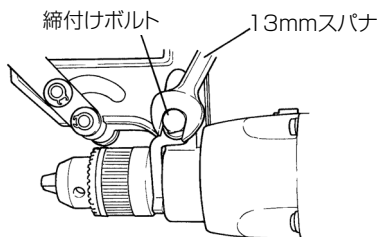


図 5

※ 電気ドリルの取付方向については、7 ページの「4. 穴あけするには」の項の図 6 を参照してください。

## ご使用前に

### 警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～2項については、コード付の場合、さし込みプラグを電源にさし込む前に、コードレスの場合、工具体より蓄電池を取付ける前に確認してください。

#### 1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

#### 2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずに、さし込みプラグを電源にさし込む、または製品に蓄電池を取付けると不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチは引くと入り、はなすと切れます。

スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。

#### 3. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

## 使 い 方

#### 1. 電気ドリルの位置調整……………

ハンドルを引くことによる錐のストローク（送り量）は、被加工材側へ30 mm です。

ハンドルを手前に引いている場合を除いて、ヘッドは常に移動可能ですので、被加工材の形状および厚さに合わせて錐の刃先と当て金の距離を調整します。

#### 2. スイッチが入っていないことを確かめ、さし込みプラグを電源にさし込む、または製品に蓄電池を取付ける。

#### 3. スイッチの操作……………

スイッチは引くと電源が入ります。

切るときはスイッチをはなしてください。

（詳しくは、電気ドリル本体の取扱説明書をお読みください。）

#### 4. 穴あけするには……

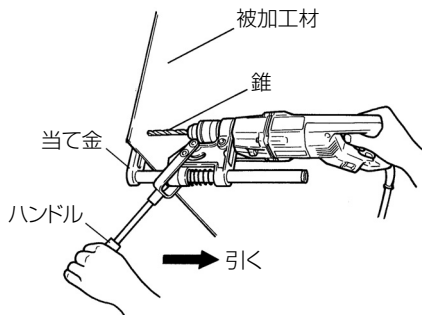


図 6

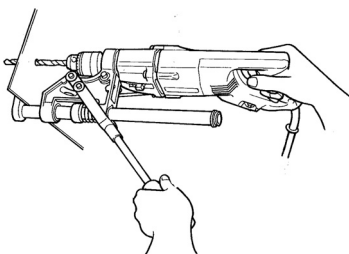


図 7

ハンドルを手前に引いて電気ドリルを被加工材の方へ移動させ、穴あけを行います。

※ 本機はストロークが 30 mm のため、被加工材の厚さが 30 mm 以上の場合、前項の「1. 電気ドリルの位置調整」を繰り返してご使用ください。

- 注**
- 錐の回転速度を落とさないように作業してください。ハンドルを強く引きすぎると錐の回転速度が落ち、モーターを焼損する恐れがあります。
  - 当て金は、できるだけ被加工材全面に接触させてください。

#### 5. 切りくずが調子よく出る程度にハンドルを引いてください。

必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先をいため、作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命も短くなります。

# 標準付属品の使い方

## 1. コンビシュー……………

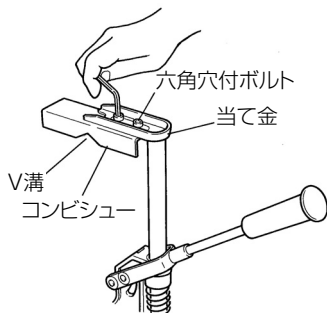


図 8

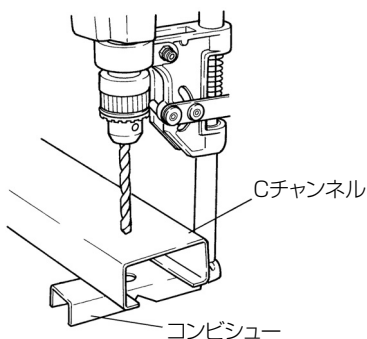


図 9

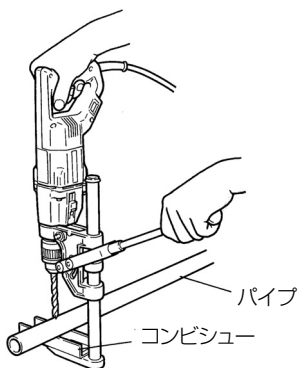


図 10

### (1) 取付け方

コンビシューは、V 溝のある面と平らな面があり被加工材の形状により選ぶことができます。

取付け方は、どちらの場合でも、同じで六角穴付ボルト (2 本) で当て金の下からねじ込んでコンビシューを固定します。

### (2) C チャンネルへの穴あけ

リップみぞ形鋼 (C チャンネル) など  
で当て金だけでは被加工材が安定しない場合は、コンビシューの平らな面を上にして固定します。

### (3) パイプ材への穴あけ

被加工材がパイプ状の場合は、コンビシューの V 溝のある方を上にして固定します。

- (4) ホールソー（最大 35 mm）での穴あけ  
コンビシューは V 溝のある方を上にして  
固定します。

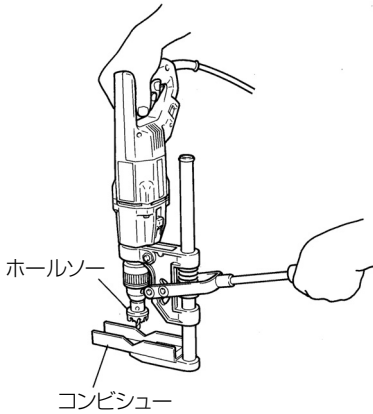


図 11

## 2. アジャスター…………

ナベネジ (2 本) で当て金にアジャスターを固定し、ふところの深さ (被加工材の端面からの距離) を一定にします。

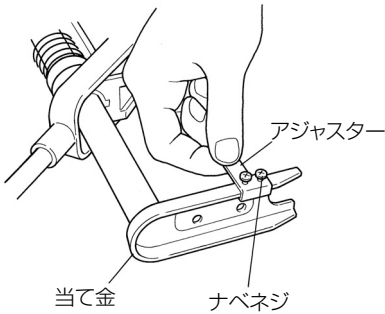


図 12

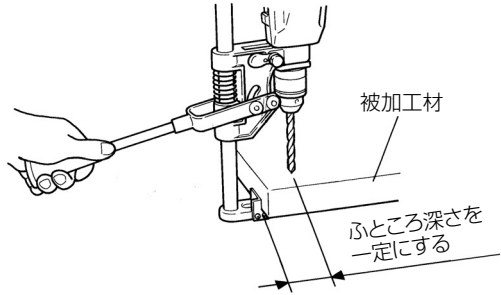


図 13

# 保守・点検

## 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、コード付の場合、さし込みプラグを電源にさし込む前に、コードレスの場合、工具本体より蓄電池を取付ける前に確認してください。

### 1. 錐の点検……………

切れ味が悪くなった錐をそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

### 2. 機体の点検……………

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

### 3. 製品や付属品の保管……………

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

|           |   |   |   |            |
|-----------|---|---|---|------------|
| お買い上げ日    | 年 | 月 | 日 | 製造番号 (NO.) |
| 販売店 (TEL) |   |   |   |            |

## 全国営業拠点

|                                                                                                                   |                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～12:00, 13:00～17:00                                                                |                                                                                                         |
| ●フリーダイヤル<br> <b>0120-20-8822</b> | ※携帯電話からはご利用になれません。<br>携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。<br>※長くお待ちする場合があります。<br>お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。 |

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ●営業本部              | ●北陸支店              |
| TEL (03) 5783-0626 | TEL (076) 263-4311 |
| ●北海道支店             | ●関西支店              |
| TEL (011) 786-5122 | TEL (0798) 37-2665 |
| ●東北支店              | ●中国支店              |
| TEL (022) 288-8676 | TEL (082) 504-8282 |
| ●関東支店              | ●四国支店              |
| TEL (03) 6738-0872 | TEL (087) 863-6761 |
| ●中部支店              | ●九州支店              |
| TEL (052) 533-0231 | TEL (092) 621-5772 |

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>